

令和4年度 廃棄物処理施設の維持管理に関するデータ(北清掃工場)

データ更新日: 令和5年4月25日

表1 処分した廃棄物に係る事項

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
数量(t)	10,210.96	11,318.97	9,524.69	10,607.92	10,144.91	14,094.79	10,827.70	9,698.62	10,059.98	10,141.70	2,397.17	11,132.41	120,159.82

備考) 廃棄物の種類は一般廃棄物です。

表2 燃焼ガス温度及び一酸化炭素濃度の測定結果 ※各測定結果は連続記録計の平均値

施設名	項目	月												
		単位	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1号炉	炉出口ガス温度	℃	-	917	927	923	921	921	929	927	925	929	941	938
	反応集じん装置入口ガス温度	℃	-	150	150	150	150	150	150	150	150	150	149	150
	脱硝入口一酸化炭素濃度	ppm	-	15	12	11	11	12	12	13	12	10	3	7
2号炉	炉出口ガス温度	℃	960	961	955	947	916	947	946	944	941	-	-	-
	反応集じん装置入口ガス温度	℃	150	150	150	150	150	150	150	150	150	-	-	-
	脱硝入口一酸化炭素濃度	ppm	11	8	8	6	7	6	8	8	8	-	-	-
3号炉	炉出口ガス温度	℃	960	954	954	941	-	943	951	-	937	956	962	965
	反応集じん装置入口ガス温度	℃	150	150	150	150	-	150	150	-	150	150	150	150
	脱硝入口一酸化炭素濃度	ppm	9	9	14	10	-	8	9	-	15	8	6	5

表3-1 ばい煙測定結果

施設名	採取場所	項目	測定年月日										
			報告年月日	R4.4.12	R4.6.14	R4.7.12	R4.9.13	R4.10.11	R4.11.8	R4.12.13	R5.1.10	R5.3.14	
1号炉	煙突36mステージ サンプリング口	塩化水素(12%換算値)	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	R4.4.28	-	7	4	-	-	3	3	4	2
		窒素酸化物(12%換算値)	ppm	-	27	20	-	-	17	15	15	16	
		硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> /h	-	0.13	0.20	-	-	0.15	0.10	0.14	0.15	
		ばいじん(12%換算値)	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	-	<0.001	<0.001	-	-	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	
2号炉	煙突36mステージ サンプリング口	塩化水素(12%換算値)	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	4	5	6	1	4	2	5	-	-	
		窒素酸化物(12%換算値)	ppm	18	20	13	16	23	20	17	-	-	
		硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> /h	0.19	0.04	0.03	0.01	0.09	0.03	0.10	-	-	
		ばいじん(12%換算値)	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	-	-	
3号炉	煙突36mステージ サンプリング口	塩化水素(12%換算値)	mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	3	-	-	1	3	-	-	5	5	
		窒素酸化物(12%換算値)	ppm	17	-	-	10	13	-	-	17	16	
		硫黄酸化物排出量	m <sup>3</sup> /h	0.25	-	-	0.04	0.10	-	-	0.18	0.15	
		ばいじん(12%換算値)	g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	<0.001	-	-	<0.001	<0.001	-	-	<0.001	<0.001	

表3-2 排ガス中のダイオキシン類濃度の測定結果

施設名	採取場所	測定年月日				
		報告年月日	R4.6.14	R4.10.11	R4.11.8	R5.1.10
1号炉	煙突36mステージ サンプリング口	ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	R4.7.7	R4.11.2	R4.12.1	R5.1.31
		0.00013	-	0.000051	-	
2号炉	煙突36mステージ サンプリング口	ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0	-	0.00015	-
3号炉	煙突36mステージ サンプリング口	ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	-	0.00006	-	0.00046

備考) 廃棄物処理施設の維持管理に関するデータは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律第9条の3第6項」に基づき公表するものです。

※排出ガス等に係る法令排出基準値及び管理目標値

項目	法令基準値	管理目標値
ばいじん	0.08 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.02 g/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>
塩化水素	430 ppm (700 mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )	49 ppm (80 mg/m <sup>3</sup> <sub>N</sub> )
硫黄酸化物	12.46 m <sup>3</sup> /h (78ppm(注))	30 ppm
窒素酸化物	250 ppm	50 ppm
ダイオキシン類	1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>	0.5 ng-TEQ/m <sup>3</sup> <sub>N</sub>

(注) 硫黄酸化物のppm値は総量規制値をppm換算したもの

表5 放流水中のダイオキシン類濃度の測定結果

項目	採取年月日		
	報告年月日	R4.6.14	R5.2.14
ダイオキシン類	pg-TEQ/l	R4.7.7	R5.3.10
	0.000078	0.000018	

表6 放流水中の一般項目の測定結果

項目	採取年月日	
	報告年月日	R5.2.14
PH	-	R5.3.8
	6.9	
BOD	mg/l	2.1
SS	mg/l	<0.5

※放流水に係る排出基準値及び管理目標値

項目	排水基準	管理目標値
PH	5.8~8.6	6.5~7.5
BOD	20 mg/l	10
SS	40 mg/l	20
ダイオキシン類	10 pg-TEQ/l	10 pg-TEQ/l

(参考)用語・単位について

ng(ナノグラム)・・・10億分の1グラム  
 pg(ピコグラム)・・・1兆分の1グラム  
 TEQ・・・毒性等量のこと、ダイオキシン類には様々な異性体(代表的なもので29種類)が存在するため、その量をダイオキシン類の中で最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ダイオキシンの毒性を1として係数を作り(毒性等価係数という)、この係数と実測濃度をかけあわせた数値の合計。  
 m<sup>3</sup><sub>N</sub>(ノルマル立法メートル)・・・摂氏0度、1気圧の状態に換算した気体の体積

表4 冷却設備・排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去

施設名	除去日
ストブロー	1回/日実施
反応集塵装置(バグフィルター)	1~3号炉とも反応集塵装置1基が8室に分かれており各室30分のインターバルで順次逆洗を行い、全8室を約240分を1サイクルとして運転し、ろ布に堆積したばいじんの除去を行っている。